

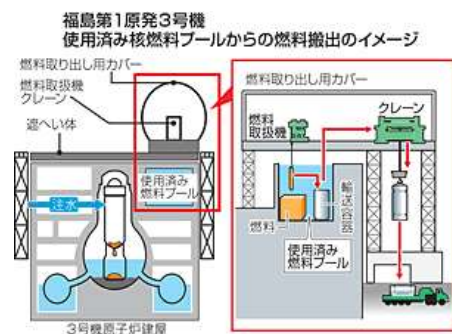
報告：原発問題をめぐる全体状況

＠第 83 回脱原発八千代ネットワーク定例会

2019 年 7 月 27 日 川井康郎

1. フクシマの状況

- (1) 福島県が首都圏の公務員宿舎などに居住する 63 所帯の自主避難者に退去通告ならびに損害金を請求していることに対して、原発事故被害者団体連絡会は文書で抗議。
- (2) 汚染により住宅を解体した更地に対する特例期間が終了し、2022 年度から固定資産税が大幅（6 倍程度）に増額される。帰還できない被災者への影響は大きい。国も県も詳細を把握していない。
- (3) 7/4 に 3 号機の燃料取り出し作業を 2 か月ぶりに再開したにも拘わらず、7/18 に取り出し機が故障。まだ 14 体の未使用燃料しか取り出しは完了していない（計 559 体）。
- (4) 7/24 東電は福島県知事に対して、福島第二（4 炉）の廃炉を正式に表明（今更！？）。廃炉には 40 年を要し、跡地には使用済み燃料（9532 体）の乾式貯蔵設備を計画。最終的な行き先は未定。



2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 稼働中原発は 7 基（高浜④、玄海③は定期点検中）
- (2) 7/8 規制委員会は各原発に対して「未知の活断層」への再評価を求めることとした。約 1 年間かかる見通し。玄海と川内に影響か？
- (3) 各原発の廃炉/再稼働計画
 - 柏崎刈羽：東電は 1-5 号機の廃炉の見返りに 6-7 号機の再稼働を目論むものの、進展せず。
 - 浜岡：1-2 号機はすでに廃炉決定済み。3-4 号機は審査中（すでに 5 年、県・周辺自治体ともに反対あるいは慎重）。5 号機は 2011.5 のタービンへの海水侵入トラブルにより健全性に疑問。

3. その他のトピックス

- (1) 7/21 参院選、原発立地地域では自民党 11 議席、野党 6 議席（下線は一人区）
自民党：北海道(2)、青森、福島、茨城、静岡、石川、福井、島根、佐賀、鹿児島
野党：北海道、宮城、新潟、茨城、静岡、愛媛
- (2) 7/22 IAEA（国際原子力機関）の天野之弥事務局長（72）が死去。IAEA は原子力の「平和」利用の推進機関であるとともに、核セキュリティ監視機関。

<以上>